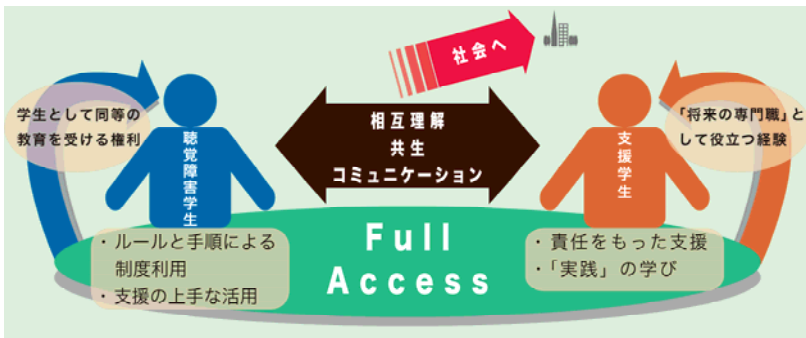


学生と共同した支援者養成システムの構築プロジェクト

— 権利としての情報へのフルアクセスと、学生としての相互理解・共生・コミュニケーションを目指して —
日本社会事業大学 聴覚障害者大学教育支援プロジェクト

本学の聴覚障害学生支援におけるゴール



本学における聴覚障害学生支援のゴールは、社会福祉領域の専門職として卒業後に活躍できるように、「聴覚障害学生の権利として、授業等の場面で情報への完全アクセス」を保障するとともに、それを基盤とした、「学生同士としてのメンバー間の相互理解・共生・コミュニケーション」を促進することである。

必要なものは

- ❖ コミュニケーションベースとしての手話
- ❖ 支援者の増員（聴覚障害学生は7名）
- ❖ 支援スキルのアップ

アイディア!

- ❖ 手話を覚えてもらおう!
- ❖ バイトや勉強で忙しいから、いつでもどこでも練習ができるといいな!
- ❖ もっと気軽にパソコンテイクに触れてもらいたい!
- ❖ スキルをフォローするものがあればいいな!

手話練習会

基本からこつこつと!

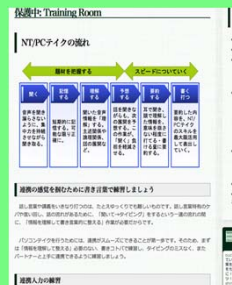
- ❖ 聴覚障害学生らが中心になって空きコマに週2-3回実施
- ❖ 聴覚障害学生、ろう者のプロジェクト室スタッフと手話で会話できるように。



小規模な自主的な練習会もたくさんしています!



オンライントレーニング作成 (現在進行中)



1. 音声データの収集(教科書の読み上げ、雑談、講義調のものなど)
2. windows movie makerで動画ファイル化
3. YouTube にアップ
4. HPの「Training Room」からアクセスして練習

社大オリジナル辞書作成 (現在進行中)

1. 過去の1年半分のPCテイクログをテキストマイニングソフトで分析。
2. 社大の授業での頻出用語や打ちにくい言葉を短縮
3. PCテイク用パソコンに登録



いつ来ても練習ができる!

Training Labの整備

iTunes Universityからダウンロードした講義映像が蓄積されている。講師なしでも実践的な練習がいつでも!

入力PCにはタイピングソフトとバーチャルパートナー!



支援者数
2011年度 40名前後(うちPCテイク7名)
2012年度 65名前後(うちPCテイク23名)